

## 第 10 章

### 電気・ガス・上下水道

## 第 10 章 電気・ガス・上下水道

### 電気

平成12年度における電灯需要の契約口数をみると、471万8507口にのぼり、前年度の465万6141口に比べ1.3%(6万2366口)の増加となった。その内訳をみると、定額制が64万1041口(前年度比1.4%増)、従量制が406万4377口(同1.4%増)となっている。また、使用電力量は189億8358万kWhで、前年度に比べ1.7%の増加となり、1口当たりの年間使用量は4023kWh(前年度比0.3%増)となった。

一方、電力需要についてみると、契約口数は54万4226口で、前年度に比べ1.1%の減少となった。また、使用電力量は414億1010万kWhで、前年度に比べ0.96%の増加となっている。

このうち、500kW未満の使用電力量では176億4873万kWhで42.6%のウェイトを占めており、前年度に比べ、1.3%の増加となっている。

なお、500kW以上の使用電力量は237億6137万kWhと、前年度に比べ、0.7%の増加となっている。

### ガス

平成12年度中の大阪ガス株式会社における都市ガスの生産量は51億3552万m<sup>3</sup>で、前年度の51億3666万m<sup>3</sup>に比べ0.02%の減少となった。

一方、消費量は39億8241万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ2.1%の増加となった。これを内訳でみると、工業用が19億1011万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ1.5%の増加となり、商業用が5億6164万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ3.0%の増加、公用が1億5494万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ12.3%の増加、医療用が1億667万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ6.0%の増加、家庭用が12億4907万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ1.0%の増加となっている。

なお、大阪府内の需要家の総数は366万4122戸で、前年度に比べ1.2%の増加となっている。

### 上下水道

・上水道 平成12年度における上水道の総給水量をみると、年間給水量は13億2292万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ1.4%の減少となっている。これを地域別にみると、大阪市地域が5億607万m<sup>3</sup>で、全体の38.3%を占めている。

栓数は301万1064件で、前年度に比べ1.3%の増加となっている。

また、1人1日平均給水量は417ℓで、前年度に比べ1.0%の減少となっている。これを市町村別にみると、1位が大阪市の533ℓで、以下、泉佐野市の473ℓ、美原町の441ℓの順となっている。

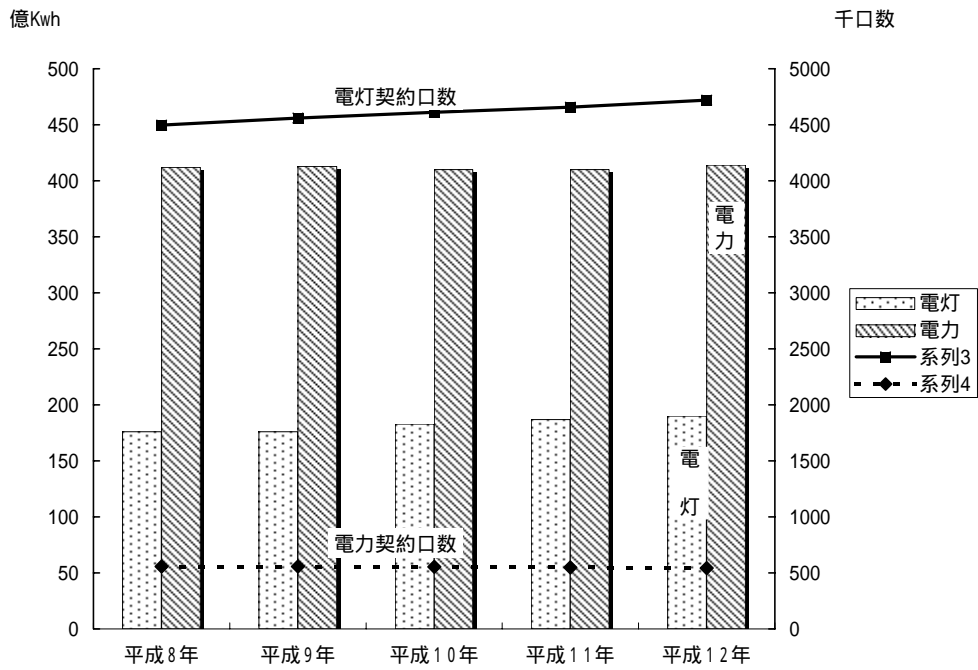
工業用水の使用状況をみると、1日当たりの総使用量は、前年比3.2%増の867万9525m<sup>3</sup>となっている。

このうち、淡水の使用量は816万9255m<sup>3</sup>で、前年に比べ3.3%の増加となっており、全体の94.1%を占めている。これを水源別(淡水)にみると、回収水が大半の89.6%を占めており、その内訳は、化学が49.1%、石油・石炭が21.3%、鉄鋼が16.4%と、この3業種で回収水全体の約9割を占めている。

・下水道 府内における平成12年度末の下水道の普及率をみると、処理人口施設が84.6%で、前年度より2.2ポイントの上昇となっている。このうち、大阪市地域は排水施設、処理施設ともに99.9%と、ほぼ全域に普及している。

また、都市下水路延長では、公共下水道への転用がすすんでいるが、都市計画決定が1万2582m、供用中が1万1982mとなっている。

使用電力量・契約口数の推移



地域別都市ガス消費量の構成比 (平成12年度)

